

月日	月 日		@SYSDATE
経過	治療日		退院日
	治療前	治療後	
目標	・ 病気について理解できる。 ・ 検査の必要性和注意点について理解できる。	・ 痛みや症状を伝えることができる。	・ 退院後の生活の注意点が理解できる。
検査			・ 血液検査をします。
治療	治療の順番が来ましたら無理のない方法で内視鏡室へ移動します。 終了後、車椅子で帰室します。		
観察	・ 便の状態を観察してください。 * カスが混じらない黄色・透明水様便が治療の目安です。 ・ 入院後体温・脈拍・血圧を測定します。	・ 検査前後に出血や痛みがないか確認します。 ・ 体温・脈拍・血圧を測定します。	
注射	・ 点滴をします。 		
内服	・ 指示された朝の薬を内服したか確認します。 ・ 昼の薬は指示された薬のみ内服してください。	・ タの薬は指示された薬のみ内服してください。 	・ 普段通り内服してください。
食事	絶食です。	・ 水・お茶のみ飲むことができます。	・ 朝から食事ができます。
行動	・ 制限はありません。	・ 翌朝までベッド上安静になりますが、トイレに歩くことは可能です。	
説明	・ 看護師が入院時の説明と治療の前処置の説明を行います。 	1. 排便コントロール 1) 食物繊維の多い野菜は、やわらかく調理するかよく噛んで摂取する。 2) 消化の良いものを摂取する。(お粥、うどんなど) 3) 乳酸菌を摂取する。4) 指示された下剤を使用する。 2. 血圧のコントロール 血圧が高いと出血のリスクが高まります。 血圧のお薬を飲んでいる方は、自己中断せず、医師の指示を守って服用するようにしましょう。 3. アルコール、たばこ、炭酸飲料、香辛料、冷たいもの、揚げ物は控える 腸管に刺激を与えるので控えましょう！ 4. 激しいスポーツや重い荷物の持ち運びなどのお腹に力が入る動作、長距離の運転、長風呂は、ポリープを切除してから2週間は控えましょう。切除した傷から出血する可能性があります。 5. ストレスをためない リフレッシュを心掛けてください。睡眠を十分にとりましょう。 6. その他 重いものを持ち上げたり、排便時にいきんだりすると、血液の流れがよくなり、出血の危険性が高くなります。 	 便をした時に血が混ざっていた場合や、お腹の痛みが続く場合、発熱や悪寒がある場合はガマンせずに病院に連絡してください。 内服薬は医師の指示通り、用法・用量を守って内服しましょう。 □抗凝固剤（ ）を内服されている患者さんは、（ 月 日）から内服して下さい。

注1） 病名は現時点で考えられるものであり、今後の検査等を進めていくにしたがって変わり得るものです。
注2） 入院期間については現時点で予想されるものです。
注3） 特別な栄養管理の必要性については、電子カルテ等様式の変更が直ちにできない場合、食事の欄に記載してもよい。

特別な栄養管理の必要性
有 ・ 無

上記内容について説明を受け同意いたしました。

署名：	続柄：
-----	-----